



発行所
財団法人愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
編集者 事務局長

平成18年度
全国統一防火標語
消さないで
あなたの心の
注意の火。

第二十四回 愛媛県消防操法大会 九月十七日於県消防学校(大規模訓練場)

優勝
◎ポンプ車
伊方町消防団 第十三分団
◎小型ポンプ
西予市消防団 溪筋分団



選手宣誓



競技(小型ポンプ)

第二十四回愛媛県消防操法大会が九月十七日(日)、松山市勝岡の消防学校大規模訓練場に県下十一地区から選出、ポンプ車十五チーム・小型ポンプ十七チームの精鋭が参集して盛大に開催された。当日は、台風の影響により、雨天が懸念されたが、各法大会が九月十七日(日)、地から選手を始め、応援を含め千人を超える方々が会場を埋め、日頃鍛えた技の競演に大きな声援が送られた。大会は台風接近の為、入場行進などを省いて早めに行進。八時半より開会のことば、主催者の愛媛県知事(代理・県民環境部長) 県協会長(代理・中予支部長)がそれぞれ挨拶、来賓として県議会議長(代理・副委員長) 町村会長の祝辞が述べられた。

つづき、出場消防団旗参集のもと選手を代表して、久万高原町消防団 日野選手の手力強い宣誓・審査委員長(消防学校長) から競技上の注意があり開会式を修了。九時より競技を開始し、出場チームは準備動作を練り出す等競技順番が迫ると緊張を漂わせ、応援団に「礼し、スタート地点へ向かう。審査員が厳しく見守る中、指揮者の力強い号令のもとにきびきびとした動作で技の速さと正確さを競った。各選手の真剣なまなざしに息をのむような緊張感の漂う会場であったが、ホースを延長し、火点の標的が放水によって落ちる度に、各地区から応援に駆けつけた応援団や観客から大きな声援と盛大な拍手が沸き起こった。



競技(小型ポンプ)



競技(小型ポンプ)



競技(小型ポンプ)

競技終了後、審査委員長から競技結果が発表されたが、県下に暴風波浪警報が発令された為、表彰式は省き、万歳三唱の後、閉会のことばにより大会を終了した。なお、小型ポンプの部で優勝した西予市消防団は、平成十八年十月十九日(木)に兵庫県立広域防災センターで開催される第二〇回全国消防操法大会に愛媛県代表として出場する。西予市消防団の、全国大会での健闘を心から祈りたい。



競技(ポンプ車)



競技(ポンプ車)



競技(ポンプ車)

第二十四回大会入賞チーム

◎ポンプ車の部

- 優勝 伊方町消防団 第十三分団
- 二位 愛南町消防団 城辺方面隊 第二分団
- 三位 四国中央市連合消防団 豊岡分団第一部
- 四位 大洲市消防団 肱北分団
- 五位 西予市消防団 中筋分団

◎小型ポンプの部

- 優勝 西予市消防団 溪筋分団
- 二位 伊方町消防団 第三分団
- 三位 伊方町消防団 第十三分団
- 四位 鬼北町消防団 日吉方面隊 第七分団
- 五位 大洲市消防団 肱川方面隊 大谷分団



集合

全国大会出場チーム団長・選手紹介



西予市消防団 溪筋分団 団長・選手

・ 団長及び選手の皆さんにアンケートをお願いした。内容は、
① 今日の操法の感想(反省など) ② 訓練(練習)での苦労 ③ 全国大会への抱負

団長 宇都宮 利行

- ① 選手のことを考慮すれば開会式は短時間に終了させるのが良いと思います。審査結果の発表においては修正がないことが原則で、事前チェックを厳密にして欲しい。
- ② 県操法大会等の審査要綱の相違点があるため、全国大会へ向けての修正が必要となることは選手への負担が生じる。
- ③ およそ6ヶ月間の訓練で体得した技術を発表する機会を与えていただいたことを感謝しながら、悔いのない戦いをしたいと思います。

指揮者 班長 大野本 敦

- ① 操法自体は日頃の消防活動に大きく貢献できる最大の訓練だと思えます。現在の操法は、やや魅せる方向にあると思いますが、やはり的確な動きとスピードが大切ではないでしょうか。
- ② 団員の確保が困難になっていることで、訓練に参加できる団員が限られている。

仕事後の訓練ということで大変である。
③ 後悔のない操法を展開し上位入賞を目指します！

一番員 団員 清水 幸樹

- ① 大会に向けての練習がきついけど、技能を身につけるいい機会だと思う。
- ② 飲み会が多く内臓に悪い(笑い)
- ③ 自分たちがやってきたことを全て出し切れるよう頑張ります！！

二番員 団員 原井川 真吉

- ① 上下関係、規律を覚えるための操法だと思う。
勝ち負けではない大切なモノが身に付く。
- ② 走る回数が多いので体力的にしんどい。自分の時間を削られる。
- ③ 県の代表として恥ずかしくない操法をやりまます！

三番員 団員 三瀬 健児

- ① 機械が進化してより早い、スピードのある操法に変わってきたのではないのでしょうか。
- ② 仕事、家庭を少し犠牲にして取り組まないといけないこと。
- ③ 全国制覇目指して頑張ります！

補欠 班長 別宮 善宣

- ① 人と人が関わる絶好のチャンス。それが今の操法だと思う。
- ② これも、人と人のぶつかり合いがあるので、その点苦労することもある。
- ③ 感謝の気持ちを胸に精一杯頑張ります！

ポンプ車優勝チーム



伊方町消防団第13分団



応援団

—— 第24回 愛媛県消防操法大会成績表 ——

ポンプ車の部

出場順位	出場チーム		総合得点	順位
	消防団名	分団名		
1	伊方町消防団	第13分団	183.0	1
2	大洲市消防団	大洲方面隊肱北分団	173.5	4
3	今治市消防団	朝倉方面隊第3分団	166.0	8
4	四国中央市連合消防団	三島分団第8部	165.0	9
5	西予市消防団	中筋分団	173.5	5
6	久万高原町消防団	久万方面隊第2分団	147.5	13
7	今治市消防団	波方方面隊第3分団	162.5	11
8	四国中央市連合消防団	豊岡分団第1部	176.0	3
9	松山市消防団	小野分団	168.0	7
10	宇和島市消防団	津島方面隊清満分団	171.5	6
11	松山市消防団	城東分団	136.0	15
12	愛南町消防団	城辺方面隊第2分団	178.0	2
13	西条市消防団	神戸分団	160.0	12
14	新居浜市消防団	大生院分団	162.5	10
15	砥部町消防団	第3分団	144.0	14

小型ポンプの部

出場順位	出場チーム		総合得点	順位
	消防団名	分団名		
1	久万高原町消防団	柳谷方面隊第2分団	60.5	17
2	愛南町消防団	御荘方面隊第4分団	79.0	8
3	松前町消防団	第5分団	69.0	11
4	西条市消防団	石根分団	67.5	12
5	伊方町消防団	第13分団	86.5	3
6	東温市消防団	第4分団	60.5	16
7	西予市消防団	溪筋分団	87.5	1
8	今治市消防団	菊間方面隊第1分団	62.5	15
9	今治市消防団	大西方面隊第2分団	70.5	10
10	四国中央市連合消防団	妻鳥分団第3部	83.5	6
11	新居浜市消防団	金子中分団	65.5	14
12	今治市消防団	伯方方面隊第1分団	74.5	9
13	鬼北町消防団	日吉方面隊第7分団	85.0	4
14	内子町消防団	内子方面隊満穂分団	82.5	7
15	伊方町消防団	第3分団	87.5	2
16	大洲市消防団	肱川方面隊大谷分団	85.0	5
17	松山市消防団	石井分団	66.5	13

※ 昨年4月より年4回(4月・7月・10月・1月)の季刊発行となっております。
今回は愛媛県消防操法大会特集号(号外)を発行いたします。